

令和7年度 第2回世田谷区立図書館運営協議会 次第

日時 令和7年7月29日(火) 午後6時30分～
場所 教育会館3階大会議室「ぎんが」

- 1 第3次世田谷区立図書館ビジョンに基づく各館の取組みの評価・検証
(対象館：下馬図書館、深沢図書館、桜丘図書館、尾山台図書館、上北沢図書館)

- 2 その他(事務連絡)

次回開催予定 日時：令和7年10月24日(金) 18時30分～開催

会場：教育会館3階 大会議室「ぎんが」

(対象館：粕谷図書館、鎌田図書館、経堂図書館、梅丘仮事務所、奥沢仮事務所、中央図書館)

○配付資料

- ・次第
- ・【資料1】各館の児童登録者1人あたりの貸出数について
- ・【資料2】令和6年度 各館取組みシート
- ・世田谷のとしょかん 令和7年度版

○参考資料

- ・令和6年度 世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果
- ・世田谷区子どもの読書に関する実態調査報告書(令和7年3月)

各館の児童登録者1人あたりの貸出数について (児童は0歳～12歳を指す)

資料 1

	(A) 児童登録者数 (人)		増減	(B) 全登録者 児童資料貸出数 (冊) ※1		増減	(C) 「全登録者児童資料貸出数」に 対する児童登録者1人当たりの 貸出数 (冊) (B/A)		増減	(D) 児童登録者別 児童資料貸出数 (冊) ※2		増減	(E) 「児童登録者別 児童資料貸 出数」に対する児童登録者1 人当たりの貸出数 (冊) (D/A)		増減
	R5	R6		R5	R6		R5	R6		R5	R6		R5	R6	
	★中央	4,570		4,608	38		264,454	276,677		12,223	57.87		60.04	2.18	
★梅丘	1,359	1,224	△ 135	30,260	27,106	△ 3,154	22.27	22.15	△ 0.12	10,136	9,430	△ 706	7.46	7.70	0.25
世田谷	2,489	2,546	57	155,297	143,148	△ 12,149	62.39	56.22	△ 6.17	62,166	58,463	△ 3,703	24.98	22.96	△ 2.01
砧	4,341	4,299	△ 42	235,874	226,151	△ 9,723	54.34	52.61	△ 1.73	99,576	94,194	△ 5,382	22.94	21.91	△ 1.03
★奥沢	1,285	1,123	△ 162	28,348	27,368	△ 980	22.06	24.37	2.31	8,375	7,789	△ 586	6.52	6.94	0.42
玉川台	2,769	2,688	△ 81	159,415	152,447	△ 6,968	57.57	56.71	△ 0.86	67,457	64,345	△ 3,112	24.36	23.94	△ 0.42
代田	1,926	1,965	39	107,506	105,849	△ 1,657	55.82	53.87	△ 1.95	47,016	43,893	△ 3,123	24.41	22.34	△ 2.07
★烏山	2,482	2,414	△ 68	150,732	148,875	△ 1,857	60.73	61.67	0.94	52,849	50,796	△ 2,053	21.29	21.04	△ 0.25
下馬	2,636	2,581	△ 55	114,807	106,816	△ 7,991	43.55	41.39	△ 2.17	46,206	41,714	△ 4,492	17.53	16.16	△ 1.37
深沢	2,311	2,316	5	126,455	112,603	△ 13,852	54.72	48.62	△ 6.10	54,362	48,088	△ 6,274	23.52	20.76	△ 2.76
★桜丘	2,416	2,364	△ 52	129,738	128,069	△ 1,669	53.70	54.17	0.48	56,043	55,846	△ 197	23.20	23.62	0.43
★尾山台	2,917	2,874	△ 43	146,953	145,732	△ 1,221	50.38	50.71	0.33	60,910	61,140	230	20.88	21.27	0.39
上北沢	1,812	1,813	1	73,545	67,826	△ 5,719	40.59	37.41	△ 3.18	29,020	24,536	△ 4,484	16.02	13.53	△ 2.48
粕谷	2,655	2,646	△ 9	112,549	105,014	△ 7,535	42.39	39.69	△ 2.70	46,902	43,799	△ 3,103	17.67	16.55	△ 1.11
鎌田	2,196	2,177	△ 19	105,596	101,977	△ 3,619	48.09	46.84	△ 1.24	50,097	47,768	△ 2,329	22.81	21.94	△ 0.87
★経堂	2,746	2,696	△ 50	188,152	199,523	11,371	68.52	74.01	5.49	68,810	71,762	2,952	25.06	26.62	1.56
全館合計	40,910	40,334	△ 576	2,129,681	2,075,181	△ 54,500	52.06	51.45	△ 0.61	987,185	960,648	△ 26,537	24.13	23.82	△ 0.31

※1 (B) は、児童以外の一般利用者による貸出分を含む

※2 (D) は、他館で登録されている児童の貸出分を含む

★印の図書館は、令和5年度から令和6年度にかけて児童資料貸出数は減っているが、一人当たりの貸出数は増加している。(中央・経堂図書館は、児童資料貸出数についても増加している。)

令和7年度 第2回世田谷区立図書館運営協議会
「令和6年度各館取組みシート」

目 次

下馬図書館	1 ページ～
深沢図書館	5 ページ～
桜丘図書館	9 ページ～
尾山台図書館	13 ページ～
上北沢図書館	17 ページ～
【参考】世田谷区立図書館の特色等一覧表	21 ページ～

下馬図書館（住所：世田谷区下馬 2-32-1 運営体制：指定管理）

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取組み2つを選択）

- （1）基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館
取組項目 「子どもの読書を支援する取組みの拡充」
- （2）基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館
取組項目 「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

（1）「子どもの読書を支援する取組みの拡充」

課題 映像やデジタルメディアなど多様な娯楽の浸透により、小学校中学年以上の児童の図書館来館頻度および読書時間が減少傾向にある。その結果、良書との出会いや読書の楽しさを体験する機会が失われつつあり、読書習慣の定着が困難となっている。

目標 児童の図書館利用を促進し、図書資料の魅力に加え、体験を通じて読書への関心を高める多角的な取組みを展開することで、読書活動の活性化を図る。

（2）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

課題 商店会、学校、福祉施設、文化財団、プレーパーク等地域で活動する多様な団体・組織に対し、具体的な事業提案を通じた積極的な働きかけを行い、相互に連携を深める機会を創出する必要がある。

目標 既に連携実績のある団体とは、継続的な協働を見据えた新たな事業を提案し、連携の深化を図る。また、未連携の団体に対しては、図書館の活動趣旨に基づいた具体的な提案を通じて関係構築を進め、図書館活動に関わる担い手の裾野を広げるとともに、地域の多様な場面で協働できる機会を創出する。

令和6年度 取組みの実施状況

（1）「子どもの読書を支援する取組みの拡充」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
体験を通じた読書促進イベント	実施回数	7回（延べ16回）	11回（延べ21回）	157.1%
	参加者数	366名（延べ456名）	1233名（延べ1444名）	336.9%
職場体験、読書リーダー	実施回数	13回	20回	153.8%
	参加者数	24名	76名	316.7%

※「延べ」回数は連続事業を各回1回としてカウント、「延べ」人数は催事ブースを複数設けた事業において、それぞれのブースへの参加者全てカウントしている。

- ・地域の子どもたちと大学生が約1年かけて創作活動に取り組む「世田谷ふしぎの本プロジェクト」を2年連続で開催。参加定員を5名から10名に拡大し、制作された作品も4点から10点に増加するなど、事業の発展と成果が見られた。
- ・破損した図書の修復作業を体験するプログラムを、大学生と図書館の協働により実施。本の構造や扱い方を学びながら、修理を通じて子どもたちの読書への関心と本を大切に作る心を育んだ。
- ・自然の中で体験と物語を同時に味わうことで、より深い読書体験の創出を目的として、たき火で焼き芋を作る体験と、火や秋をテーマとしたお話の読み聞かせを組み合わせ実施した。



たき火のそばでおはなし会

- ・「極楽」をテーマとした読み聞かせを足湯に浸かりながら行う体験型おはなし会を実施。心身ともにリラックスした状態で物語の世界に没入することを促進した。
- ・ぬいぐるみが図書館に泊まるという物語的演出を通じて、子どもたちの想像力をかき立てるプログラムを実施。翌日には「ぬいぐるみの一晩の出来事」として読書と結びつけた報告を行った。
- ・読書リーダー活動を希望する子どもが増えたため、活動を月2回に分けて実施することで、充実した図書館体験を提供した。

（2）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
地域連携によるイベント	実施回数	7回（延べ16回）	11回（延べ21回）	157.1%
	参加者数	429名（延べ519名）	1818名（延べ2029名）	423.8%
来館者数		200,292名	215,825名	107.7%

- ・商店会、大学2校、平和資料館との協働により、「あおぞら図書館」を2年連続で開催した。各団体の催事と連携を図ることで、スケールメリットを活かし、地域で活躍する人々と連携事業として実施できた。
- ・地域で高い人気を誇る大道芸イベントと協力して、隣接する公園と図書館を〈サーカス会場〉に見立てた「ライブラリーブックサーカス」を開催した。パフォーマンスと読書体験を融合させるほか、公園を使った謎解き読書など、新たな読書の魅力を発信した。
- ・地域の大学に通う大学生の協力のもと、外国語での読み聞かせを実施。国際的な感覚を地域に届けるとともに、大学生に地域活動への参加を促した。
- ・平和事業を2年連続で実施。平和資料館、世田谷観音、歴史作家と連携し、地域の歴史を紹介した。地域住民の歴史への関心を高め、世代間交流を促進し、住民参加と地域連携を推進した。
- ・来館者数においては、約15,000人の増加があった。地域連携の効果も来館者数増加の一因であると思われる。



大道芸人による曲芸

令和6年度取組みに対する自己評価

（1）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

令和6年度は、事業の実施回数と参加者数がともに増加し、子どもの読書への関心を高める多様な機会を提供できた。企画内容や連携団体の充実により、子どもたちが主体的に参加できる場が広がり、読書をより身近に感じられる環境づくりが進んだ。

（2）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

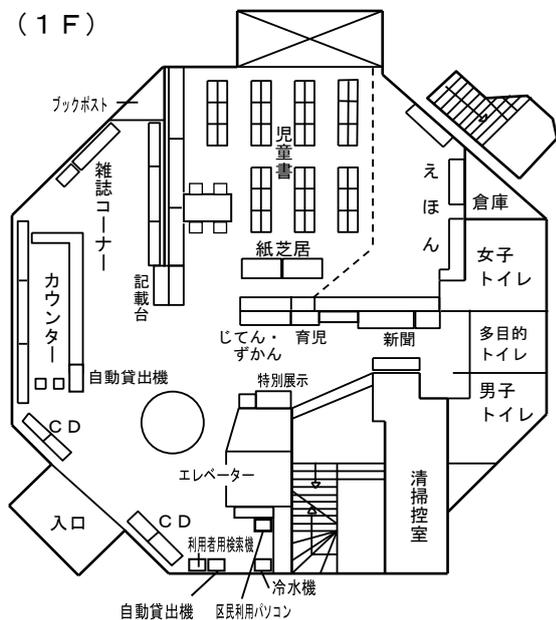
商店会・大学・平和資料館との協働や地域と一体となった事業を複数展開し、図書館の新たな活用を提案すると同時に、図書館活動への参加を促すきっかけづくりに取り組めた。参加者数や事業の広がりからも、地域とのつながりが着実に深まっていることがうかがえる。

図書館運営協議会からの意見・提案

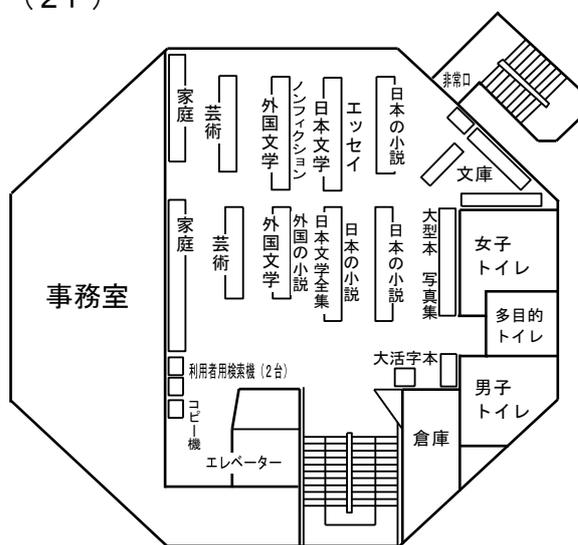
下馬図書館

開設	昭和55年5月24日
所在地	下馬2-32-1 (単独施設)
構造	鉄筋コンクリート地上3階地下1階建
床面積	1,092.05㎡
対面朗読室	1室
閲覧席	54席 (パソコン利用可能席: 54席、コンセント口数: 4)
資料数	図書資料 82,318
	音響資料 5,239
	合計 87,557

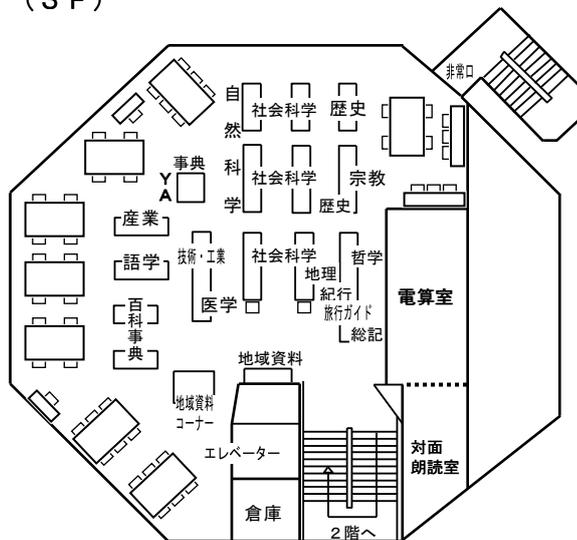
(1F)



(2F)



(3F)



項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数	
	冊数	分野別	冊数	分野別	冊数	分野別			
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,206	2.1%	1,187	2.0%	1,193	2.0%	△ 19	6
	哲学	2,197	3.8%	2,228	3.8%	2,185	3.7%	31	△ 43
	歴史	5,484	9.5%	5,755	9.8%	5,956	10.2%	271	201
	社会科学	7,153	12.4%	7,210	12.3%	7,065	12.1%	57	△ 145
	自然科学	4,401	7.6%	4,508	7.7%	4,459	7.7%	107	△ 49
	工学	5,012	8.7%	5,045	8.6%	4,970	8.5%	33	△ 75
	産業	1,648	2.9%	1,675	2.9%	1,605	2.8%	27	△ 70
	芸術	5,947	10.3%	6,056	10.3%	6,061	10.4%	109	5
	語学	1,122	1.9%	1,158	2.0%	1,083	1.9%	36	△ 75
	文学	20,389	35.4%	20,659	35.3%	20,663	35.5%	270	4
	地域資料	2,462	4.3%	2,486	4.2%	2,640	4.5%	24	154
	その他	539	0.9%	565	1.0%	396	0.7%	26	△ 169
	一般図書計	57,560		58,532		58,276		972	△ 256
	児童図書	22,795 (26.4%)		22,851 (26.2%)		23,173 (26.5%)		56	322
	大活字本	695		693		845		△ 2	152
	デジタル資料	24		24		24		0	0
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	5,176		5,238		5,239		62	1
	障サ資料	0		0		0		0	0
所蔵数合計	86,250		87,338		87,557		1,088	219	
雑誌・タイトル数	186		188		116		2	△ 72	
図書資料 貸出数	一般図書	116,189		118,090		119,744		1,901	1,654
	児童資料	119,941		114,807		106,816		△ 5,134	△ 7,991
	大活字本	943		702		1,006		△ 241	304
	デジタル資料	4		23		2		19	△ 21
	マンガ	0		0		285		0	285
	雑誌	13,948		12,578		13,130		△ 1,370	552
	音響資料	7,657		8,078		7,805		421	△ 273
	障サ資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	258,682		254,278		248,788		△ 4,404	△ 5,490
登録者数	一般	10,043		9,747		9,897		△ 296	150
	児童	2,655		2,636		2,581		△ 19	△ 55
来館者数	190,298		200,292		215,825		9,994	15,533	
予約数	80,605		79,537		81,401		△ 1,068	1,864	
コピー枚数	9,304		17,961		12,281		8,657	△ 5,680	
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※	17.6		18.9		18.2		1.3	△ 0.7	

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

深沢図書館（住所：世田谷区深沢 4-33-11 運営体制：直営）

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取組み2つを選択）

- (1) 基本方針1 求められる知識・情報を確実に提供する図書館
取組項目 「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」
- (2) 基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館
取組項目 「地域の各施設、機関との連携」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

(1) 「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」

課題 社会全体の活字離れが進むなか、利用者ニーズに応える蔵書を収集し、図書館の魅力を発信することで、読書文化を守り、区民に情報や知識を届け、生活をより豊かにしていくことが求められている。

目標 利用者のニーズを反映した資料収集を行う。展示コーナーにおいて図書館の特色を生かした魅力を発信するとともに、障がい者・高齢者・多文化サービスの充実を図る。

(2) 「地域の各施設、機関との連携」

課題 駅から離れており、利用が近隣の住民に限定されがちだが、地域の方々、学校や児童館と協力して、幅広い層に働きかけ、地域の活性化の拠点となることが求められている。

目標 区民センターや児童館との共催イベント等を通じて、図書館をアピールし、利用者層の拡大を図る。また、出張おはなし会や図書館見学など学校との連携を強化する。

令和6年度 取組みの実施状況

(1) 「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
一般・児童資料 貸出数	一般	133,395 冊	134,122 冊	100.5%
	児童	126,455 冊	112,603 冊	89.0%
本の種類や数についての満足度 (来館者アンケートより)		82.8% (満足・やや満足・普通合算)	84.2% (満足・やや満足・普通合算)	101.7%

- ・選書については、利用者のニーズに応えるよう、予約の多い本や、最新の情報に対応した実用書を中心に収集するとともに、重版され長く読み継がれている本も購入するようにした。
- ・除籍に関しては貸出回数や本の状態を見て、特に希少な本は保存庫に送るなど慎重に行うようにしている。
- ・児童文学作家中川李枝子氏の著書を集めた展示コーナー「ぐりとぐらコーナー」において、著書を幅広く収集している(220冊程度)。特に代表作の「ぐりとぐら」に関しては、6ヶ国語に翻訳された絵本や点字版も所蔵している。
- ・外国語の児童書は積極的に収集し、令和6年は51冊受入した。
- ・LLブックのコーナーを常設している。さわれる絵本や点字の本もあり、配慮が必要な方への理解を広めている。



ぐりとぐらコーナー

（2）「地域の各施設、機関との連携」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
図書館見学	実施回数	3校	2校	66.7%
	参加人数	237名	221名	93.2%
区民センター・児童館との共催行事	実施回数	4回	4回	100%
	参加人数	707名	919名	130%
出張おはなし会	実施回数	3校9公演	2校4公演	—
	参加人数	373名	236名	63.3%
区立小・中学校への調べ学習支援貸出実績	貸出回数	22件	10件	45.5%
	貸出冊数	782冊	340冊	43.5%

- ・図書館見学は1校の人数が100人程度と多いので、4クラスを図書館と同建物にある深沢児童館とで交代で案内した。
- ・区民センター・児童館との共催行事は、敬老の日記念(近所のデイホームに渡すプレゼントを近隣住民と作成)・クリスマス会(会場運営等)・新年子どもまつりと深沢文化祭(リユース本の配布コーナー)を行った。リユース本コーナーは年々本の準備と展示を工夫し、参加人数は増加している。
- ・出張おはなし会では小学校2校におもむき、2年生向けに手あそびや読み聞かせを行った。
- ・ほかにも独自の行事として区民センター会議室にて、子ども向け行事として「おりがみをおろう(ハロウィンのリースづくり)」、大人向け行事「本の装備体験と豆本づくり」を実施した。イベントを通じ、地域の方々に本や図書館を身近に感じてもらえた。



深沢文化祭リユース本コーナー



豆本づくりイベントでの作品

令和6年度取組みに対する自己評価

（1）「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」

- ・令和6年11月に電気工事で1週間程度休館したため、前年と比べて全体の貸出実績は下がっている。一般書については、児童書に対して購入比率を増やしたので、貸出数はわずかに増えている。来館者アンケートの本の種類や数の満足度は施設の規模が小さいため低調だが、数値は年々上がってきているため、引き続き利用者の役に立つ資料を収集していきたい。

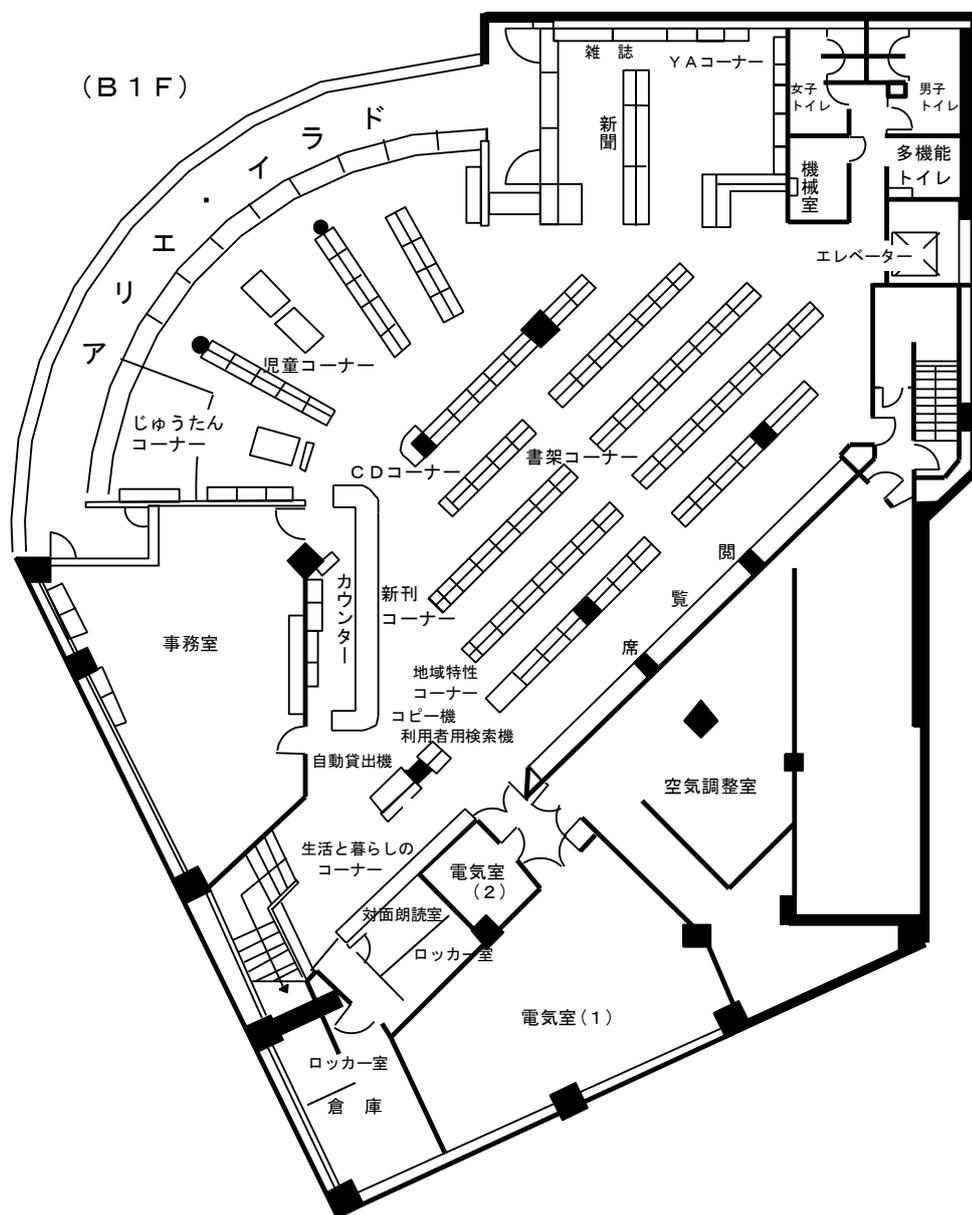
（2）「地域の各施設、機関との連携」

- ・区民センターや児童館との合同行事は年々準備を工夫し、イベント自体の集客は増えており、地域の方々に、図書館に親しみを感じ、興味を持ってもらうことができた。
- ・学校との連携は、出張おはなし会や小学校見学など、多くの子どもたちに図書館を知ってもらい、利用してもらうきっかけになっている。学校からの申し出が減ったため、数字は下がったが、参加した子どもたちの反応は良かったので、成果は残せたと考える。

図書館運営協議会からの意見・提案

深沢図書館

開設	昭和56年7月19日
所在地	深沢4-33-11
	複合施設名称 『深沢区民センター』
構造	鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 (図書館は地下1階部分)
床面積	622㎡ (図書館部分)
対面朗読室	1室
閲覧席	12席 (パソコン利用可能席: 4席、コンセント口数: 0)
資料数	図書資料 78,617
	音響資料 2,664
	合計 81,281



項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数	
	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比			
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,058	2.0%	1,132	2.1%	1,091	2.1%	74	△ 41
	哲学	1,688	3.2%	1,721	3.3%	1,772	3.4%	33	51
	歴史	4,245	8.0%	4,395	8.3%	4,331	8.2%	150	△ 64
	社会科学	6,122	11.6%	6,405	12.1%	6,180	11.7%	283	△ 225
	自然科学	3,348	6.3%	3,378	6.4%	3,273	6.2%	30	△ 105
	工学	5,686	10.8%	5,594	10.6%	5,550	10.5%	△ 92	△ 44
	産業	1,438	2.7%	1,484	2.8%	1,468	2.8%	46	△ 16
	芸術	4,690	8.9%	4,551	8.6%	4,505	8.5%	△ 139	△ 46
	語学	1,156	2.2%	1,136	2.1%	1,117	2.1%	△ 20	△ 19
	文学	21,234	40.2%	20,959	39.6%	21,419	40.5%	△ 275	460
	地域資料	1,598	3.0%	1,558	2.9%	1,585	3.0%	△ 40	27
	その他	527	1.0%	589	1.1%	535	1.0%	62	△ 54
	一般図書計	52,790		52,902		52,826		112	△ 76
	児童図書	26,045 (31.8%)		25,293 (31.1%)		25,157 (31.0%)		△ 752	△ 136
	大活字本	511		513		624		2	111
	デジタル資料	10		10		10		0	0
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	2,638		2,675		2,664		37	△ 11
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	81,994		81,393		81,281		△ 601	△ 112
雑誌・タイトル数	183		186		117		3	△ 69	
図書資料 貸出数	一般図書	143,305		133,395		134,122		△ 9,910	727
	児童資料	147,536		126,455		112,603		△ 21,081	△ 13,852
	大活字本	530		613		730		83	117
	デジタル資料	7		2		1		△ 5	△ 1
	マンガ	0		0		255		0	255
	雑誌	12,308		11,237		11,359		△ 1,071	122
	音響資料	6,909		6,558		5,887		△ 351	△ 671
	障サ資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	310,595		278,260		264,957		△ 32,335	△ 13,303
登録者数	一般	7,328		7,102		7,201		△ 226	99
	児童	2,320		2,311		2,316		△ 9	5
来館者数	197,099		191,074		195,222		△ 6,025	4,148	
予約数	92,408		84,430		86,027		△ 7,978	1,597	
コピー枚数	12,596		19,314		11,362		6,718	△ 7,952	
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※	14.0		14.0		14.0		0.0	0.0	

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

桜丘図書館（住所：世田谷区桜丘 5-14-1 運営体制：直営）

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取組み2つを選択）

- (1) 基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館
取組項目 「図書館利用に困難を抱える子どもへの対応」
- (2) 基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館
取組項目 「地域の各施設、機関との連携」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

(1) 「図書館利用に困難を抱える子どもへの対応」

課題 桜丘図書館に隣接している笹原小学校には「目の教室(弱視通級指導学級)」があり、図書の貸出・出張おはなし会を行っているが、一昨年から開始した事業のため、今後サービスの充実に向けて取組んでいく必要がある。

目標 学校と連携して図書（大活字本・LLブック・CD・デージー等）の貸出数や出張おはなし会の回数を増やしていく。

(2) 「地域の各施設、機関との連携」

課題 令和2年10月に「認知症とともに生きる希望条例」が施行されたことに伴い、あんしんすこやかセンターの所在地を単位として「認知症アクションチーム」が立ち上げられ、桜丘図書館も活動に参加している。図書館としても認知症に関連した図書資料の提供や関連機関と連携した事業を展開していく必要がある。

目標 認知症に関連した資料の充実や、これまで活動を通じて連携できるようになった施設や機関と新たな事業の展開を行っていく。

令和6年度 取組みの実施状況

(1) 「図書館利用に困難を抱える子どもへの対応」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
児童向け大活字本等の所蔵資料数 (大活字本・LLブック・CD・デージー等)	冊数	252冊	296冊	117.5%
目の教室へ出張おはなし会	実施回数	1回	1回	100%
	参加者数	17名	13名	76.5%
目の教室への資料（大活字本・LLブック・CD・デージー等）の貸出 ※カッコ内はデージー等デジタル資料数	冊数	1,274冊 (278冊)	631冊 (98冊)	49.5% (35.3%)

- ・児童向け大活字本などの読みづらさのある子どもが利用しやすい資料の所蔵数については、昨年度に比べて増やすことができた。
- ・一方で、目の教室との連携については、出張おはなし会の回数は昨年度と同様であり、資料数の貸出については減少となった。

（2）「地域の各施設、機関との連携」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
落語を楽しむ会	実施回数	1回	1回	100%
	参加者数	32名	33名	103.1%
認知症講演会	実施回数	1回	1回	100%
	参加者数	67名	94名	140.3%

・「落語を楽しむ会」では、桜丘区民センターで「土曜寄席」を行っているメンバーと、「認知症落語」を創作・実演している都立松沢病院の新里和弘医師により、認知症の知識や予防等をテーマに実施した。図書館では、認知症に関連した資料の紹介などのPRを行った。好評につき、令和7年度も開催を予定している。



落語を楽しむ会

・令和6年度の「認知症講演会」は、桜丘図書館開館40周年を記念して脳科学者の恩蔵絢子氏に、ご自身の母親の認知症と向き合った経験から、脳科学的な見地で認知症について講演をいただいた。

令和6年度取組みに対する自己評価

（1）「図書館利用に困難を抱える子どもへの対応」

都内に9か所しかない弱視児童のための通級学級が桜丘図書館に隣接している笹原小学校にあるのはとても意味のあることだと捉えている。令和6年度は大活字本等の所蔵資料数を増やすことができたが、目の教室への出張おはなし会や資料貸出について初年度を下回ってしまった。

今後、困難を抱える子どもへのサービスを継続していけるよう、日頃から学校や中央図書館障害者サービス担当とも連携しながら、令和7年度は業績の回復に努めたい。

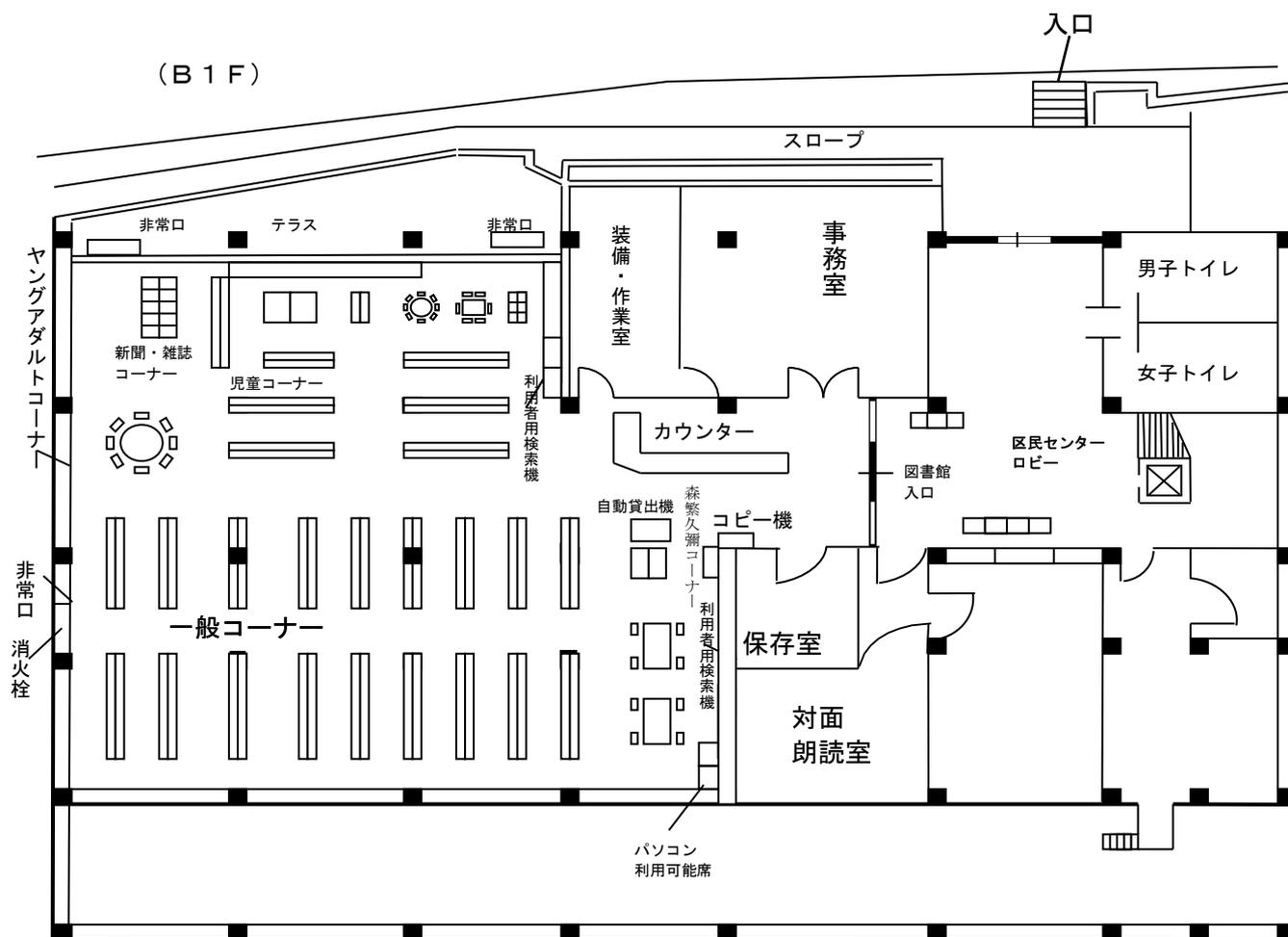
（2）「地域の各施設、機関との連携」

認知症に関わりのある方は様々で、関連著作がある方も大勢いるため、令和6年度はそのような著作者である恩蔵氏をお招きし、講演会を行うというかたちで「認知症アクションチーム」の活動に関わるとともに、図書館として認知症関連資料の提供や事業の実施等を通して、図書館としても活動を知ってもらえることができたと思う。

図書館運営協議会からの意見・提案

桜丘図書館

開設	昭和59年12月18日
所在地	桜丘5-14-1
構造	複合施設名称 『桜丘区民センター』 鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 (図書館は地下1階部分)
床面積	640㎡ (図書館部分)
対面朗読室	1室
閲覧席	17席 (パソコン利用可能席: 2席、コンセント口数: 0)
資料数	図書資料 88,989 音響資料 2,518 合計 91,507



項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数	
	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比			
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,307	2.1%	1,331	2.1%	1,365	2.2%	24	34
	哲学	2,482	3.9%	2,472	4.0%	2,405	3.9%	△ 10	△ 67
	歴史	6,805	10.8%	6,940	11.1%	7,017	11.3%	135	77
	社会科学	8,635	13.7%	8,449	13.5%	8,254	13.3%	△ 186	△ 195
	自然科学	4,537	7.2%	4,487	7.2%	4,371	7.0%	△ 50	△ 116
	工学	5,990	9.5%	5,606	9.0%	5,351	8.6%	△ 384	△ 255
	産業	1,678	2.7%	1,673	2.7%	1,656	2.7%	△ 5	△ 17
	芸術	6,085	9.7%	5,990	9.6%	5,978	9.6%	△ 95	△ 12
	語学	1,175	1.9%	1,254	2.0%	1,214	2.0%	79	△ 40
	文学	22,448	35.6%	22,393	35.9%	22,606	36.4%	△ 55	213
	地域資料	1,439	2.3%	1,462	2.3%	1,566	2.5%	23	104
	その他	390	0.6%	381	0.6%	359	0.6%	△ 9	△ 22
	一般図書計	62,971		62,438		62,142		△ 533	△ 296
	児童図書	25,977 (28.2%)		26,458 (28.7%)		26,103 (28.5%)		481	△ 355
	大活字本	751		706		727		△ 45	21
	デジタル資料	17		17		17		0	0
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	2,460		2,498		2,518		38	20
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	92,176		92,117		91,507		△ 59	△ 610
雑誌・タイトル数	166		166		136		0	△ 30	
図書資料 貸出数	一般図書	172,669		169,465		173,364		△ 3,204	3,899
	児童資料	129,641		129,738		128,069		97	△ 1,669
	大活字本	878		869		967		△ 9	98
	デジタル資料	4		11		13		7	2
	マンガ	0		0		386		0	386
	雑誌	16,256		16,553		16,329		297	△ 224
	音響資料	11,837		10,040		10,284		△ 1,797	244
	障サ資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	331,285		326,676		329,412		△ 4,609	2,736
登録者数	一般	9,064		8,680		8,715		△ 384	35
	児童	2,371		2,416		2,364		45	△ 52
来館者数	—		209,524		219,155		—	9,631	
予約数	110,276		108,011		115,675		△ 2,265	7,664	
コピー枚数	7,616		14,358		6,622		6,742	△ 7,736	
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※	15.8		15.8		15.8		0.0	0.0	

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

尾山台図書館（住所：世田谷区等々力2-17-14 運営体制：直営）

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取組み2つを選択）

- （1）基本方針1 求められる知識・情報を確実に提供する図書館
取組項目 「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」
- （2）基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館
取組項目 「子どもの読書を支援する取組みの拡充」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

（1）「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」

課題 図書の選定において、職員毎、分野毎にばらつきが起きないように、様々な情報源を得て一定のレベルを確保する必要がある。

目標 新聞の書評など各種情報源を組み合わせ、効果的な選定が行える手法を確立する。

（2）「子どもの読書を支援する取組みの拡充」

課題 子どもの読書離れにより児童書の貸出冊数が減少したため、子どもが本に接する機会を増やし、本を読むことに興味を持ってもらう必要がある。

目標 おはなし会の参加者数の増加に取り組み、子どもが本に接する機会を増やすことで、前年度以上の児童書の貸出数を目指す。

令和6年度 取組みの実施状況

（1）「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」

取組みに関する指標 (来館者アンケートより)	R5	R6	前年比
今まで知らなかった世界や考え方を知り、関心分野が広がった	67.0%	65.5%	97.8%
面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた	83.3%	80.1%	96.2%
一般教養や幅広い知識を得ることができた	67.0%	67.6%	100.9%

- ・ 図書の選定に際し、貸出、予約動向の調査、新刊案内、書評からの情報収集、書店、新聞などからの情報収集、インターネット上の関連サイトからのレビューやランキング等に関する情報の収集を行った。
- ・ 新聞の書評欄に掲載された図書について利用者から所蔵有無を確認したいといった問い合わせが多かったが、該当の図書をピンポイントで調べ、購入の是非を検討するなどニーズに沿った図書の選定にも努めた。

（2）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

取組みに関する指標	R5	R6	前年比
児童図書の展示・紹介を実施した回数	38回	88回	231.6%
紹介した児童図書の冊数	約440冊	約940冊	213.6%
児童図書貸出数	146,953冊	145,732冊	99.2%
児童図書貸出数における児童登録者1人あたりの貸出数	50.38冊	50.71冊	100.7%
利用者別児童資料貸出数における児童登録者1人あたりの貸出数	20.88冊	21.27冊	101.9%

- ・月7～8回開催する幼児から小学生までを対象としたおはなし会において、おはなし会で読んだ本や関連する児童書の展示、紹介を行った。
- ・月1回開催する親子向けのおはなし会において、会場での閲覧と貸出用に約100冊の図書を展示した。
- ・展示図書の選定にあたっては、子ども向けの絵本等を全体の75%、残りの25%を本の選び方や子育て、防災等に関する保護者向けのものとした。
- ・児童書の貸出数は前年度から僅かに下回ったが、児童登録者1人あたりの貸出数でみると前年度を上回る結果となった。



おはなし会での図書展示の様子

令和6年度取組みに対する自己評価

（1）「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」

- ・全体としては、来館者アンケートでの評価が下がる結果となった。
- ・選定の結果、自館のみの購入となった図書に複数の予約が入ったりする場合もあり、利用者のニーズに沿った効果的な選書の助けになった部分もあると思うが、今後図書館向けに各出版社が勧める図書の情報を提供する事業者を活用するなど新たな方策を検討する必要があると考える。

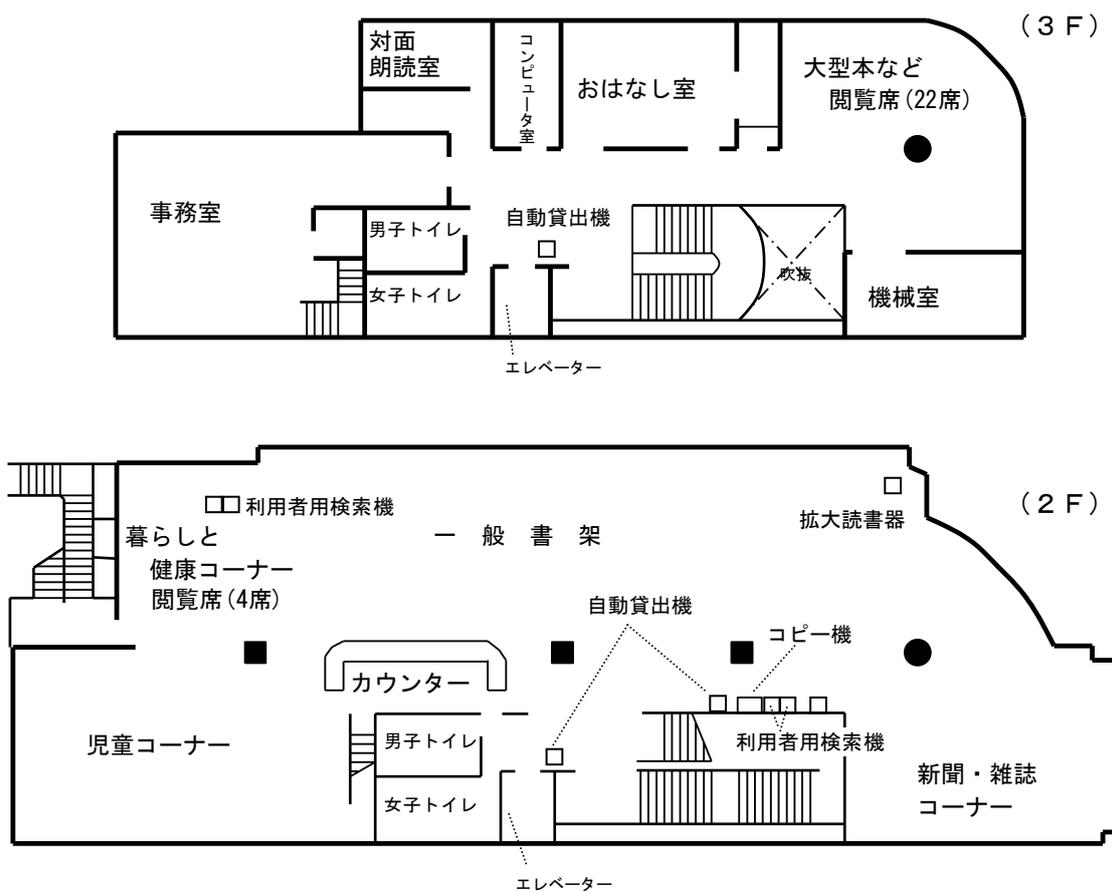
（2）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

- ・現状、コロナの影響で減少したおはなし会への参加人数が戻っておらず、児童書の貸出数は前年比で99.2%と僅かに減少する結果となったが、児童登録者1人あたりの児童書貸出数は増加した。おはなし会の最後におはなし会で読んだ本や関連する児童書の紹介を行ったことで、おはなし会終了後に紹介した図書を借りて行く参加者が毎回いたことから一定の効果はあったと捉えている。
- ・現在おはなし室で開催しているおはなし会をより児童が集まりやすい児童書架付近で開催してみるなど、参加人数を増やす工夫を行うことで、さらに子どもが本に接する機会を拡充できるよう努めていきたい。

図書館運営協議会からの意見・提案

尾山台図書館

開 設	昭和35年10月（名称 玉川図書館） （昭和63年4月6日現在地へ移転、現在の名称になる）
所在地	等々力2-17-14 複合施設名称 『尾山台地区会館』
構 造	鉄筋コンクリート地上3階地下1階建 （図書館は地上2・3階、地下1階の一部）
床面積	957.8㎡（図書館部分）
対面朗読室	1室
閲覧席	26席（パソコン利用可能席：22席、コンセント口数：18）
資料数	図書資料 85,104 音響資料 3,706 合 計 88,810



項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数	
	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比			
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,353	2.1%	1,366	2.1%	1,270	2.1%	13	△ 96
	哲学	2,660	4.2%	2,706	4.2%	2,505	4.2%	46	△ 201
	歴史	5,622	8.8%	5,744	8.8%	5,452	9.1%	122	△ 292
	社会科学	7,870	12.4%	8,098	12.5%	7,531	12.5%	228	△ 567
	自然科学	4,819	7.6%	5,049	7.8%	4,664	7.8%	230	△ 385
	工学	6,447	10.1%	6,481	10.0%	5,733	9.5%	34	△ 748
	産業	2,228	3.5%	2,214	3.4%	2,001	3.3%	△ 14	△ 213
	芸術	6,595	10.4%	6,738	10.4%	6,084	10.1%	143	△ 654
	語学	1,391	2.2%	1,417	2.2%	1,332	2.2%	26	△ 85
	文学	21,757	34.2%	22,164	34.1%	20,669	34.4%	407	△ 1,495
	地域資料	1,850	2.9%	1,834	2.8%	1,826	3.0%	△ 16	△ 8
	その他	1,098	1.7%	1,120	1.7%	976	1.6%	22	△ 144
	一般図書計	63,690		64,931		60,043		1,241	△ 4,888
	児童図書	25,068 (26.9%)		25,031 (26.6%)		24,464 (27.5%)		△ 37	△ 567
	大活字本	519		478		585		△ 41	107
	デジタル資料	14		14		12		0	△ 2
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	3,823		3,794		3,706		△ 29	△ 88
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	93,114		94,248		88,810		1,134	△ 5,438
雑誌・タイトル数	207		208		134		1	△ 74	
図書資料 貸出数	一般図書	193,023		197,258		202,794		4,235	5,536
	児童資料	152,163		146,953		145,732		△ 5,210	△ 1,221
	大活字本	334		302		420		△ 32	118
	デジタル資料	14		4		3		△ 10	△ 1
	マンガ	0		0		483		0	483
	雑誌	14,407		14,241		14,751		△ 166	510
	音響資料	10,285		9,703		8,499		△ 582	△ 1,204
	障サ資料	185		116		26		△ 69	△ 90
	貸出数合計	370,411		368,577		372,708		△ 1,834	4,131
登録者数	一般	12,649		12,263		12,655		△ 386	392
	児童	2,934		2,917		2,874		△ 17	△ 43
来館者数	273,083		282,450		302,562		9,367	20,112	
予約数	137,290		134,373		141,121		△ 2,917	6,748	
コピー枚数	20,805		34,180		25,653		13,375	△ 8,527	
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※	19.6		19.6		19.6		0.0	0.0	

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

上北沢図書館（住所：世田谷区上北沢 3-8-9 運営体制：直営）

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取組み2つを選択）

- (1) 基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館
取組項目 「子どもの読書を支援する取組みの拡充」
- (2) 基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館
取組項目 「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

(1) 「子どもの読書を支援する取組みの拡充」

課題 子どもが本に出合う機会を広げるため、図書館内の展示やおはなし会等イベントの継続的に実施し、実施及び参加人数の増加を図っていく必要がある。

目標

- ・図書館内展示ディスプレイを工夫し、来館しやすい環境づくりを行う。
- ・PRを工夫し、おはなし会等への参加促進を図り、読書に親しむ機会を提供する。

(2) 「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

課題 地域活動団体との連携及び協働にあたり、地域で活動するボランティアを育成し図書館での活動を支援したり、地域の人々との連携を図り図書館活動への参加に協力してもらう必要がある。

目標

- ・「サラダ勉強会」の参加者を増やし、活動の場を確保する。
- 「サラダ勉強会」は、旧学校おはなし会ボランティア養成講座修了生のスキルアップを図るために設立されたどなたでも参加可能な自主的な勉強会。「おはなしサラダ」として上北沢図書館などのおはなし会で活躍中。「サラダ」という名前は、上北沢図書館のキャラクターが5種類の野菜であることにちなんで命名されたといわれている。
- ・地域の人々の協力を得て、地域住民の作品を展示することで、地域に馴染む図書館づくりを行う。

令和6年度 取組みの実施状況

(1) 「子どもの読書を支援する取組みの拡充」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
わらべうた講習会	実施回数	—	1回	—
	参加人数	—	12名	—
人形劇	実施回数	1回	1回	100%
	参加人数	83名	73名	88%
ぽっぽちゃん (福音寮訪問)	実施回数	12回	12回	100%
	参加人数	59名	89名	150.8%
おはなし会 (乳児～低学年)	実施回数	71回	75回	105.6%
	参加人数	476名	713名	149.8%

- ・展示ディスプレイについては、季節やイベントに応じた装飾にして、来て居て楽しい子供コーナー・おはなしの部屋になるように工夫した。

- ・おはなし会は参加者が低年齢化しており、乳児対象のおはなし会は前年の倍以上の参加があった。PRについては、図書館共通利用カード作成時やカウンター前に案内を設置して積極的に行い、展示ディスプレイに見合う可愛らしい作成をした。



（2）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
サラダ勉強会	実施回数	8回	9回	112.5%
	参加者数	38名	41名	107.9%
サラダおはなし会	実施回数	2回	2回	100%
	参加者数	5名	8名	160%

- ・サラダ勉強会はコンスタントに実施。近隣図書館でも勉強会の周知をしてもらっている。上北沢図書館以外でもおはなし会を実施しており活動の場も広がりつつある。
- ・地域特性コーナーとして、近隣に賀川豊彦記念松沢資料館があることから賀川豊彦コーナーを、また都立松沢病院が近くにあるご縁により、心と体の健康コーナーを設置、見やすい蔵書管理に努めている。
- ・近所にお住まいだった影絵作家石井昭氏のご家族より影絵を借用、定期的に入れ替えながら展示を行っている。図書館の提案で作品管理のための作品集を制作、2025年2月に出版。展示しきれない多くの作品を見ることができ、利用者に紹介しやすくなった。



令和6年度取組みに対する自己評価

（1）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

展示ディスプレイの工夫が功を奏したのか、おはなし会の参加人数も増え、親しみやすい読書環境づくりが行えた。

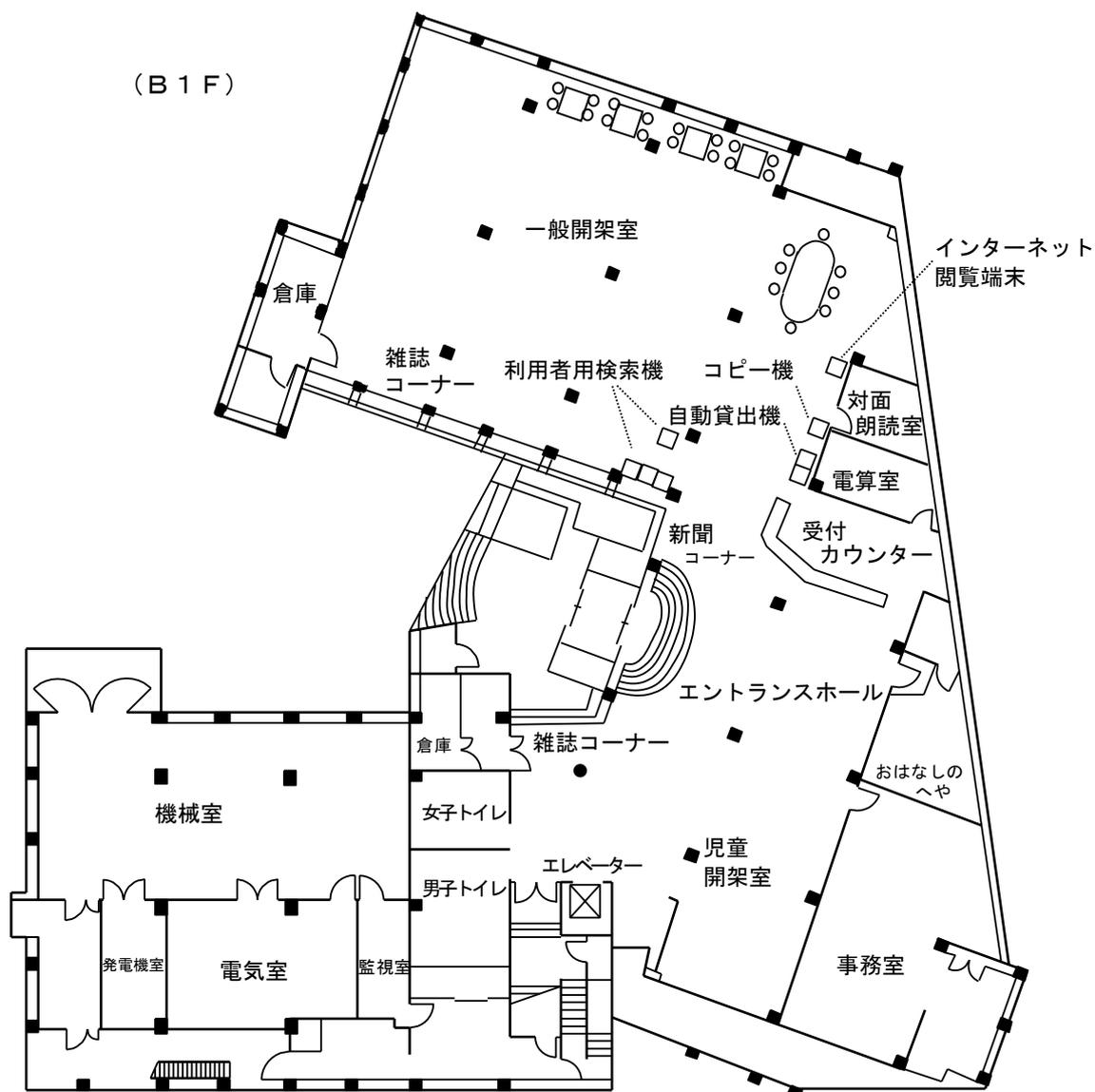
（2）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

- ・サラダ勉強会は上北沢図書館独自の取り組みで、参加人数がもう少し増え、サラダおはなし会の回数も増やせればと思うが、活動場所が増えたことは嬉しい。
- ・賀川豊彦記念松沢資料館や石井昭氏のご家族との関係を良好に保ち、都立松沢病院の立地を踏まえ、地域に馴染んだ図書館づくりが行えた。

図書館運営協議会からの意見・提案

上北沢図書館

開設	平成元年7月21日
所在地	上北沢3-8-9
	複合施設名称 『上北沢区民センター』
構造	鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 (図書館は地下1階部分)
床面積	891㎡ (図書館部分)
対面朗読室	1室
閲覧席	24席 (パソコン利用可能席: 16席、コンセント口数: 16)
資料数	図書資料 80,928 音響資料 2,715 合計 83,643



項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数	
	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比			
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,166	1.9%	1,189	1.9%	1,151	1.9%	23	△ 38
	哲学	2,048	3.4%	2,004	3.3%	1,917	3.2%	△ 44	△ 87
	歴史	4,970	8.2%	5,248	8.5%	4,928	8.2%	278	△ 320
	社会科学	6,965	11.5%	6,874	11.2%	6,405	10.7%	△ 91	△ 469
	自然科学	5,209	8.6%	5,190	8.4%	4,770	8.0%	△ 19	△ 420
	工学	5,928	9.8%	5,666	9.2%	5,344	8.9%	△ 262	△ 322
	産業	1,647	2.7%	1,673	2.7%	1,598	2.7%	26	△ 75
	芸術	5,367	8.9%	5,502	9.0%	5,559	9.3%	135	57
	語学	1,109	1.8%	1,146	1.9%	1,056	1.8%	37	△ 90
	文学	23,978	39.7%	24,774	40.3%	25,205	42.0%	796	431
	地域資料	1,508	2.5%	606	1.0%	1,577	2.6%	△ 902	971
	その他	549	0.9%	1,578	2.6%	456	0.8%	1,029	△ 1,122
	一般図書計	60,444		61,450		59,966		1,006	△ 1,484
	児童図書	20,572 (24.5%)		20,891 (24.5%)		20,610 (24.6%)		319	△ 281
	大活字本	273		236		333		△ 37	97
	デジタル資料	18		19		19		1	0
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	2,796		2,688		2,715		△ 108	27
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	84,103		85,284		83,643		1,181	△ 1,641
雑誌・タイトル数	175		176		122		1	△ 54	
図書資料 貸出数	一般図書	145,926		139,543		133,215		△ 6,383	△ 6,328
	児童資料	80,086		73,545		67,826		△ 6,541	△ 5,719
	大活字本	309		325		411		16	86
	デジタル資料	9		14		3		5	△ 11
	マンガ	0		0		255		0	255
	雑誌	13,637		12,674		12,360		△ 963	△ 314
	音響資料	8,845		8,871		7,895		26	△ 976
	障サ資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	248,812		234,972		221,965		△ 13,840	△ 13,007
登録者数	一般	8,581		8,130		8,202		△ 451	72
	児童	1,819		1,812		1,813		△ 7	1
来館者数	173,172		173,105		174,506		△ 67	1,401	
予約数	78,836		77,244		75,530		△ 1,592	△ 1,714	
コピー枚数	14,031		20,978		10,193		6,947	△ 10,785	
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※	16.8		16.8		16.8		0.0	0.0	

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

世田谷区立図書館の特色等一覧表（地域特性・独自の取組み・強みなど）

No	図書館名	特色（地域特性・独自の取組み・強みなど）
1	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・保存庫と合わせて50万冊の図書と1000タイトルの雑誌を所蔵している。 ・長谷川町子作品及び関係する資料を配架し、関連する展示を行っている。 ・プラネタリウムを併設し、関連した資料の展示やイベントなどを実施している。
2	梅丘図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は建物の老朽化により、令和5年11月から改築工事を実施している（令和8年2月開館予定）。新館開館までの間は仮事務所で貸出・返却等を行っている。 ・新館は梅ヶ丘駅徒歩5分、梅まつりやプレーパークで有名な8万㎡を超える羽根木公園内に位置しており、駅前には商店街、近隣には「うめとぴあ」や特別支援学校、児童相談所など医療・福祉関連の施設があり、地域資源が豊富で、自然あふれる立地環境である。新館でも旧館と同じく「福祉のまち 梅丘」地域にある図書館として、障害者・高齢者・子育て家庭等に関連する健康・医療・子育て情報を発信する予定である。 ・梅丘図書館で活動するボランティア団体が制作する布絵本を区内の図書館で唯一所蔵、貸出を行っている。 ・旧館では閲覧席数が地域図書館としては最多で、多くの利用者が読書や勉強など様々な用途で利用していた。新館でも地域図書館としては最多の閲覧席を確保する予定である。
3	世田谷図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・幕末維新ゆかりの地に立地し、名所旧跡や地元商店街活動との関係性を期待できる。（文化） ・古くから地元で親しまれる世田谷線に接する唯一の図書館である。（交通） ・世田谷地域の乳幼児健診会場として図書館的な子育て支援と情報発信をしやすい。（子育て） ・国士館大学に近く、学術的な支援を得ながら、大学の研究実践の場として貢献できる。（学び） ・区役所本庁舎に近く、身近な行政支援・レファレンスなどの連携性を期待できる。（行政） ・地元商店街の店並びが急速に変化し、新たな地域コミュニティ振興の可能性もある。（産業） ・非常に多くの公務員が集約されて勤める官公署エリアでもある。（勤労者）
4	砧図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・単独館であること。 3か所のまちづくりセンターや周辺の学校等地域と連携協力体制がとりやすい。 2階に児童書と子どもスペースを設けていることで大人と子どもの住み分けができています。 児童書および児童スペースが充実している。 読書活動団体が利用できる集会・会議スペースを設けていて、図書館事業もやりやすい。 ・1階に配架している実用書はNDCによらない独自の分類をとって書店のように探しやすい。 ・ウルトラマン商店街のはずれに位置していることからウルトラマンコーナーを設置している。 ・障害者が働いている福祉喫茶を併設している。
5	奥沢図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷の奥座敷と呼ばれる落ち着いた穏やかな町並みとわがまちを愛する地区活動が盛んな地域 ・令和5年4月から、施設の耐震化工事準備のため仮事務所に移転して業務を行っている。利用登録、予約本の貸出し、返却、予約受付などのカウンター業務を行うほか、限られたスペースで新聞・雑誌コーナー、新刊本棚、子どもコーナーを設置している。 ・閲覧席8席を、新聞・雑誌の閲覧利用者と小・中学生の学習利用が譲り合って上手に利用されている。
6	玉川台図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬田、用賀地域に関わる資料を積極的に収集し、地域コーナーとして常設している。 ・世田谷美術館と事業運営に関する協定を平成23年から結んでいて、世田谷美術館コレクションコーナーを設けている。 ・大人の朗読会に早くから取り組み、現在も継続させている。 ・区民センター、児童館との複合施設故、協力して地域に根差したイベント等に取り組んでいる。 ・図書館カウンター二子玉川の親館としてバックアップしている。
7	代田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・新代田駅徒歩1分に位置しており、区内で一番駅から近い図書館であるため、利便性が高い。 ・下北沢がすぐ隣にあり、演劇・下北沢・鉄道に関する資料を積極的に収集している。 ・地名の由来となったダイダラボッチの話が伝わっていることから、昔話や民話を集めたコーナーを児童書架に設置している。 ・下北沢駅徒歩3分の「ミカン下北」に立地する「図書館カウンター下北沢」の管理を行っている。
8	烏山図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳烏山駅徒歩1分の位置にある利便性と、烏山区民センター前広場で地域のイベントが積極的に開催されるなど年間を通し常に賑わいがあることから、図書館利用者数が非常に多い図書館である。 ・近隣の障害がある方が働く施設で作られた自主生産品の展示・販売を行っている。 ・地域資料架に烏山コーナーを設置し、烏山寺町や甲州街道についての資料を集めている。

世田谷区立図書館の特色等一覧表（地域特性・独自の取組み・強みなど）

No	図書館名	特色（地域特性・独自の取組み・強みなど）
9	下馬図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・都営住宅に囲まれた公園の一角に位置しており、立地環境から高齢者と子育て世代の利用が多い。 ・三軒茶屋駅を中心に飲食店・ショップが多数存在し、若年層を中心に賑わう地域と隣接している。 ・近隣には区の公共施設、資料館、シアター、また小中学校、大学等が多数存在しており、多様な文化学習資源に恵まれた地域である。 ・世田谷区立図書館の中では数少ない図書館単独の施設であり、「図書館」としての有用性と独自性の発揮が期待されている。 ・下馬という地名につながる「源頼朝」関連図書を、地域の特色ある資料として収集している。
10	深沢図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・駅から離れた住宅街にあり、地元住民の利用が多い。 ・児童文学作家の中川李枝子氏の著作を集めた「ぐりとぐらコーナー」がある。中川氏は令和4年10月に世田谷区の名誉区民に顕彰された。 ・図書館のある建物に深沢区民センター・深沢児童館があり、共催で行事を開催している。
11	桜丘図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性として、近隣に在住していた俳優の森繁久彌氏に関する資料を集めたコーナーを設置している。定期的に主演映画の上映会や講演会を行っている。 ・経堂地区の認知症希望条例アクションチームに参加しており、「認知症の人にやさしい図書館」の取り組みをすすめていく。 ・希望ヶ丘団地内にある希望丘図書室を管理しており、地域の事業に協力している。
12	尾山台図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトノベルのコーナーを設けている。 ・採光が良くスタンドグラスが設置されている。通路が広く書架の間を移動し易い。 ・駅徒歩3分で商店街の中という利用し易い立地にある。
13	上北沢図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・駅近（徒歩5分）の閑静な住宅地にある。館内が広く、落ち着いて過ごすことができる。 ・近くに都立松沢病院があることを踏まえ、心と体の健康に関する資料所蔵に重点を置き、入口のすぐそばにコーナーを設けている。 ・賀川豊彦（社会活動家）に関する資料の収集や、地域在住作家の影絵作品の展示などを通して、地域との連携を図っている。
14	粕谷図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・京王線千歳烏山駅から南へ徒歩10分程度にあり、周囲は閑静な住宅地に囲まれた隠れ家的な図書館である。 ・明治・大正期の文豪、徳富蘆花が後半生を過ごした地となる蘆花恒春園と近接しており、同作家の作品を集めた『徳富蘆花コーナー』を設け資料の収集、展示をしている。 ・徳富蘆花の著書『みみずのたはごと』では当時の自然豊かな粕谷地域の生活風景が描かれており、都立芦花公園の花の丘にも因んで、花や虫に関する本を充実させ、生きものや命の大切さの学びに資している。
15	鎌田図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・成城と二子玉川の間に位置しており、駅からの利便性はよくない。 ・利用は地元の方が中心であり、身近な図書館という意識が強く満足度も高い。 ・この地域は住戸の建設が続いていることから引越してきた家族等の利用が多い。 ・小中学校と隣接していることから児童、学生の利用が多い。 ・付近に位置する静嘉堂文庫や民家園に関するコーナーの展示を実施。
16	経堂図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急線経堂駅の高架下であり駅から徒歩1分でほぼ雨に濡れずに来館できる。 ・ビジネス資料や就職支援に特化した資料を収集しているビジネスコーナーがある。 ・座席予約システムによって効率よく座席が利用できるビジネス閲覧席がある。 ・ビジネス本の要約サービス「flier」をビジネスコーナーで利用できる。 ・障害者施設自主生産品「はっぴいハンドメイド」の製品の一部を購入できる。 ・感染症予防にも効果があり安心・安全な読書を助ける図書除菌機がある。